

2012年7月6日開館

2016. 3.27 入館47万人到達！



文学館メインエントランスと「万葉の庭」(旧知事公館庭)



万葉とばし

## <平成28年度の取組み>

### 【企画展】

- ・夢二の旅ーたまき・翁久允とのゆかりにふれつつ(3/21～5/16)
- ・映画びとーその豊かなる才能(5/27～6/27)
- ・面白い箱！アニメづくりのスタジオの中で(7/9～10/10)
- ・ふるさとの巨人ー浅野総一郎を中心にー(仮称)(10/下～12/下)
- ・収蔵品展(H29.1/下～2/下)

### 【イベント等】

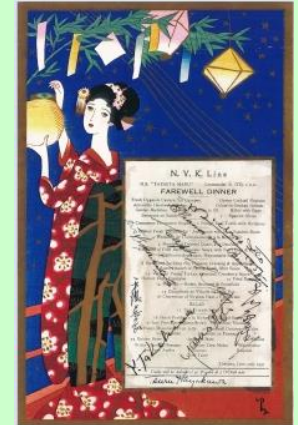
- ・観桜の集い(4/10)
- ・観月の会(9月)
- ・朗読と音楽の夕べ(8月～11月)
- ・小学生による朗読劇
- ・文学館で学ぼう！モデル事業



観桜の集い



朗読と音楽の夕べ



「夢二の旅ーたまき・翁久允とのゆかりにふれつつ」

# 大伴家持生誕1300年記念事業の推進

大伴家持(718~785)は、越中国守として赴任した746年から5年間に223首の歌を詠み、万葉集に残した。

2017~18年、大伴家持は生誕1300年を迎える

平成27年7月発足

県民の知恵と  
パワーを結集

特別委員 若干名

専門家会議 4名  
(委員長: 多田一臣東大名誉教授)

プロジェクトチーム 16名  
(総括リーダー: 中西文学館館長)

「大伴家持生誕1300年記念事業推進懇話会」12名  
(会長: 永原 功文学館友の会会長)

構成: 県、市町村、経済界、文化界、学識経験者

企画

連携

実行

【2015(平成27)年】 キックオフ事業

- ・ 児童・生徒向け ⇒ 「家持百首」作成
- ・ 高校生 ⇒ 高校生のための平成万葉塾(2校)
- ・ 一般県民 ⇒ 家持シンポジウム(11/29 ホルファート)

県全体に普及

県内市町村及び  
【各小・中・高校】

【2016(平成28)年】 ステップ事業

- ・ 児童・生徒向け ⇒ 幼児向け「越中万葉」作成
- ・ 高校生 ⇒ 高校生のための平成万葉塾(6校)
- ・ 一般県民 ⇒ 家持シンポジウム(東京、富山)、大伴家持簡単がくブックス作成、英語版「家持百首」

【2017(平成29)年】 記念事業

- ・ 大伴家持関連企画展  
(高志の国文学館)

事業内容等は「懇話会」で検討

記念式典等

【2018(平成30)年】

- ・ 大伴家持関連企画展  
(高志の国文学館)
- ・ 記念式典

事業内容等は「懇話会」で検討

家持の  
普及啓発

生誕  
1300年  
イヤー

